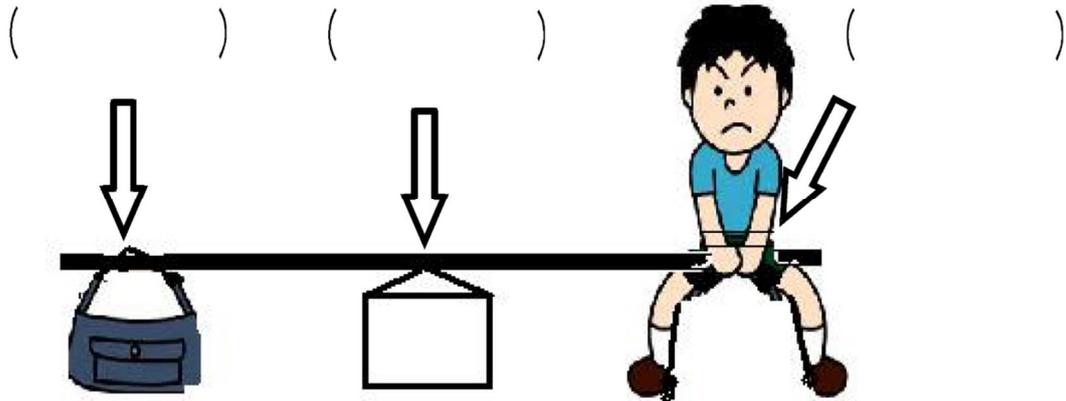


第6学年 てこのはたらき

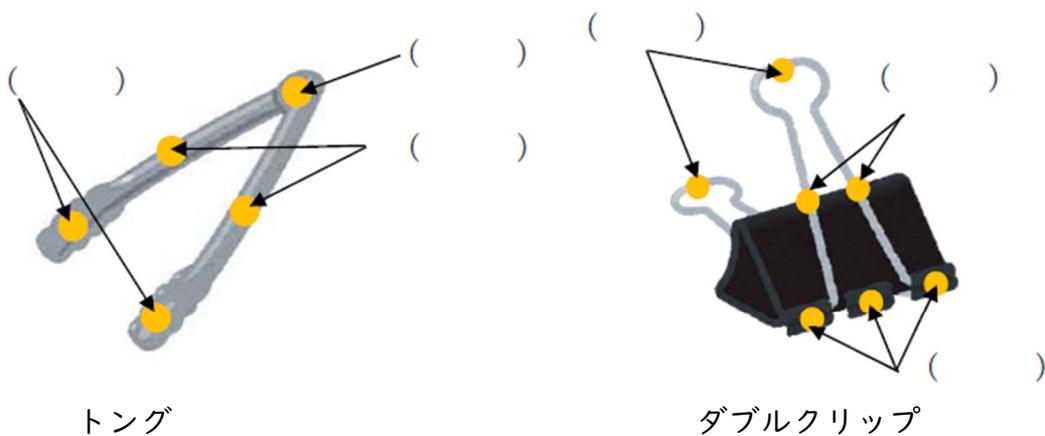
組 番 氏名 \_\_\_\_\_

1 棒ぼうのある1点を支えにして、力を加えてものを持ち上げたり、動かしたりするものをしてこといいます。問題をよく読み、(1)～(3)の問いに答えましょう。

(1) 下の図はてこを表しています。矢印で指し示したそれぞれの点は、支点、力点、作用点のどれでしょうか。( )の中に答えを書きましょう。



(2) 下の図の道具は、てこのはたらきを利用して生活で使用されているものです。それぞれの道具について、矢印の指すそれぞれの点は、支点、力点、作用点のどれでしょうか。( )の中に答えを書きましょう。



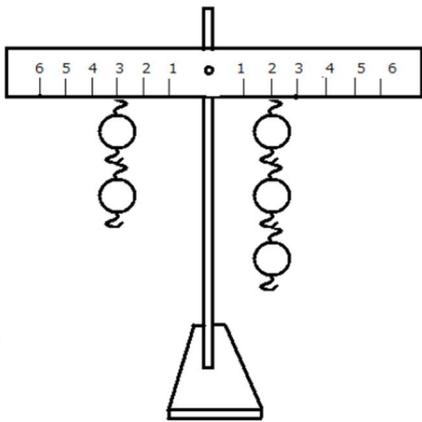
(3) 下の文は、てこを使って重いものを簡単に持ち上げるための方法を説明しています。  
 ①～④には、支点・力点・作用点のうちのどれかが入ります。正しい言葉を入れて、  
 文を完成させましょう。

(① ) と (② ) の距離を短くし、 (③ ) から  
 (④ ) までの距離を長くする。

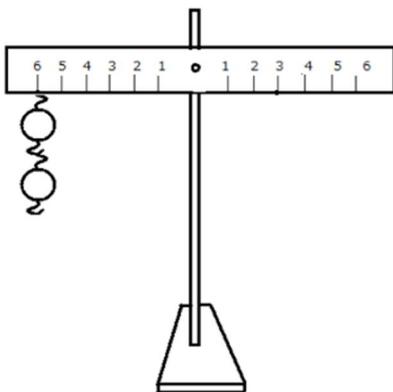
※①②及び③④に入る言葉はそれぞれ順番がちがってもかまいません。

※同じ言葉を2回使ってもかまいません。

2 実験用てこが、下図のように水平につり合うとき、どのようなきまりがありますか。



3 実験用てこの左うでの目もり6におもり2個（1個10g）つるします。右うでの目もり3に何個（1個10gとする）つるすと実験用てこは水平につり合いますか。またその理由も答えなさい。



(何個)

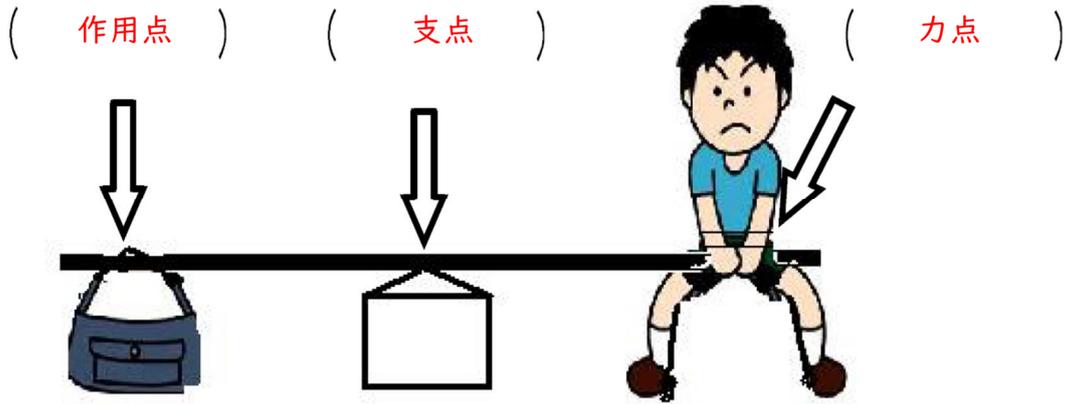
(理由)

第6学年 てこのはたらき (解答)

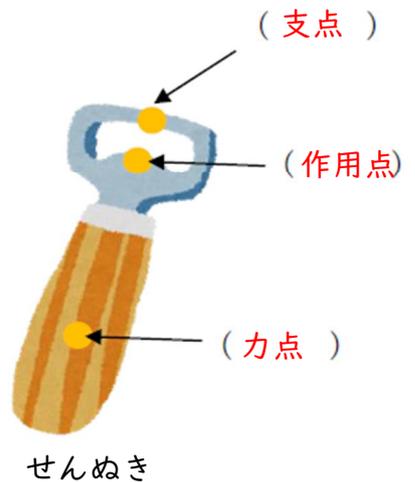
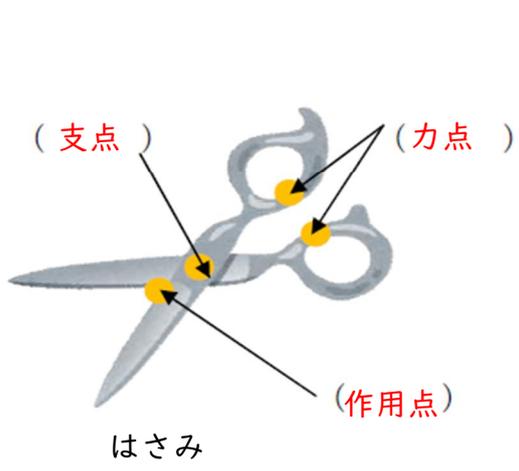
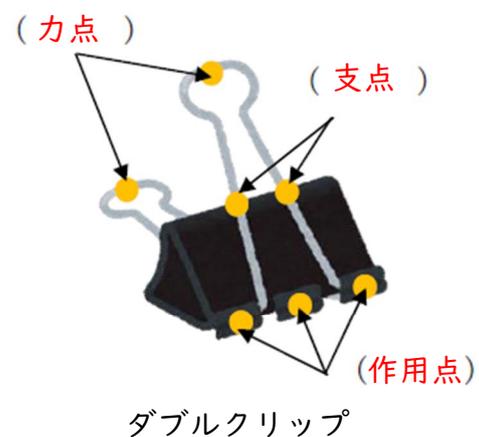
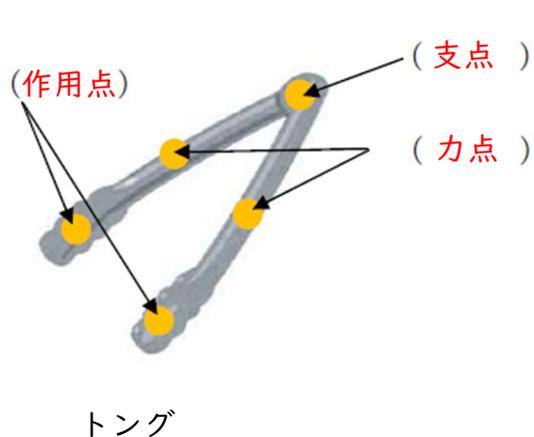
組 番 氏名

1 棒のある1点を支えにして、力を加えてものを持ち上げたり、動かしたりするものを  
てこといいます。問題をよく読み、(1)～(3)の問いに答えましょう。

(1) 下の図はてこを表しています。矢印で指し示したそれぞれの点は、支点、力点、  
作用点のどれでしょうか。( )の中に答えを書きましょう。



(2) 下の図の道具は、てこのはたらきを利用して生活で使用されているものです。  
それぞれの道具について、矢印の指すそれぞれの点は、支点、力点、作用点のどれで  
しょうか。( )の中に答えを書きましょう。



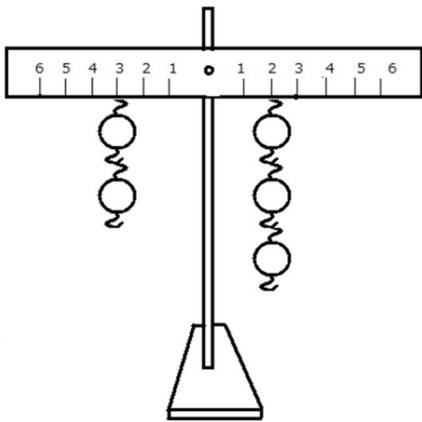
(3) 下の文は、てこを使って重いものを簡単に持ち上げるための方法を説明しています。  
 ①～④には、支点・力点・作用点のうちのどれかが入ります。正しい言葉を入れて、  
 文を完成させましょう。

(① 支点 ) と (② 作用点 ) の距離を短くし、 (③ 支点 ) から  
 (④ 力点 ) までの距離を長くする。

※①②及び③④に入る言葉はそれぞれ順番がちがってもかまいません。

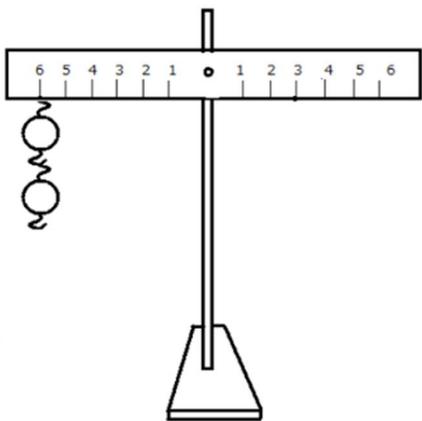
※同じ言葉を2回使ってもかまいません。

2 実験用てこが、下図のように水平につり合うとき、どのようなきまりがありますか。



おもりの重さと支点からの長さ（目もりの数）  
 の積が等しい

3 実験用てこの左うでの目もり6におもり2個（1個10g）つるします。右うでの  
 目もり3に何個（1個10gとする）つるすと実験用てこは水平につり合いますか。  
 またその理由も答えなさい。



(何個) 4個

(理由)

左うで： $20\text{ g} \times 6 = 120$

右うで： $(\quad\text{ g}) \times 3 = 120$

よって  $120 \div 3 = 40$

答え 40 g  $\Rightarrow$  1個10gであるので、  
 4個つるせばよい